

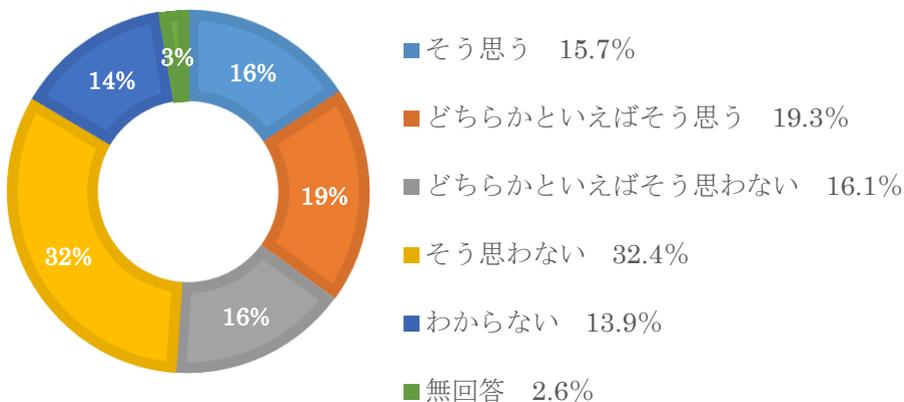
さらに詳しく(さらに深く、さらに広く)

ネットで寝た子は起こされる

同和問題の解決方法について、次のような調査結果があります。

「同和問題のことなど口に出さず、そっとしておけば、差別は自然になくなる」(『寝た子を起こすな論』)についてたずねたところ、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えた人を合わせた割合は 48.5%で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合(35.0%)を上回りました。この結果は、同和問題の解決方法について、一定の理解が進んでいるものと考えられます。

同和問題のことなど口に出さず、そっとしておけば差別は自然になくなる



【2022年(R3年)人権に関する滋賀県民の意識調査より】

しかし、35.0%の県民がそっとしておけば差別は自然になくなると考えているのも事実です。同和問題についての正しい理解がないまま間違った情報に接すると、それをうのみにしてしまい、結果的に差別の温存につなが

ります。

すべての人がインターネットを簡単に利用できる現在、部落差別をはじめとする差別を助長するような動画サイトが誰でも自由に閲覧できます。『ネットで寝た子は起こされる』状況にあります。また、そのサイトを閲覧することにより、サイト作成者が利益を得ることとなり、差別に加担することにもなりかねません。



部落差別問題の正しい知識を獲得しておかないと、差別を助長するつもりはなくても、差別を無意識に増幅させることにもなりかねません。

部落差別をなくすために、現存する部落差別をないものとするのではなく、部落差別解消推進法にも明記されている現存する部落差別を正しく理解する必要があります。まずは自分自身の差別心としっかり向き合うことから始めてみませんか。人の尊厳を大切にできる自分をつくるのが、すべての人が幸せになる第一歩ではないでしょうか。